



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創立 1969. 5. 30 会長 永井正美
幹事 西澤吉樹 会報委員長 村上武史

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2170
2014-2-7

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013-2014年度国際ロータリー会長 ロン D. パートン

本日の例会 2月7日(第1例会)

- 表彰・ホームクラブ連続皆出席
今岡(10) 南賀(20) 佐伯(10)
藤野(30) 井上(10) 原田(10)
平瀬(10) 村上(武)(10) 岩永(50)
中尾(10) 宇津井(10) 奥田(10)
小原(10) 各会員
- お祝・誕生日
今岡 岩永 永井 佐々木 鈴木
奥田 米田 各会員
・結婚記念日
三木 西村 佐伯 宇津井 奥田
各会員
- 卓話 「東アジアの英語教育とコミュニケーション不安」
1988～89年度 第2660地区国際親善奨学生
鳥取環境大学 人間形成教育センター
准教授 中村弘子様
(小林正啓国際奉仕委員長担当)

- 理事会 11:30～12:10
シェラトン都ホテル大阪 3階 クローク横
- クラブフォーラム(国際奉仕)
13:40～15:30
シェラトン都ホテル大阪 3階 金剛の間

次週のお知らせ 2月14日(第2例会)

- 卓話 「ロータリー青少年交換について」
ロータリーの青少年奉仕部門の1つである青少年交換プログラムの概要と当地区の青少年交換の現状
地区研修員/地区青少年交換委員会副委員長
磯田郁子様(大阪東淀ちゃやまちRC)
(原田雄司会員担当)
- 食膳 <フランス 肉料理>

次々週のお知らせ 2月21日(第3例会)

- 卓話 「ステンレス鋼について」

新日鐵住金ステンレス(株) 営業部 大阪支店
ステンレス薄板室長 堀江秀明氏
(佐伯為次会員担当)

先週のお記録 1月31日(第5例会)

- 出席報告
出席会員 41名 (内免除会員 12名)
会員総数 52名 (同上 18名)
ゲスト 1名
ビジター 0名
計 42名
ホームクラブ出席率 85.11%
1月17日(第3例会)補正出席率 93.33%(MU 1名)
- ゲスト&ビジター(敬称略)
山口一儀(卓話者)

◆会長の時間◆

昨日世界を駆け巡るビッグニュースが入ってきました。医学の分野で若干30才という若き日本人女性、理化学研究所の小保方晴子チームリーダーがIPSより簡単で、がん化リスクが低い体細胞を迅速に万能細胞(多能性細胞)へ初期化する方法を開発されたということです。山中伸弥教授に続いての日本人快挙!!この初期化現象を「刺激惹起性多能性獲得(STAP)細胞」と命名、甲午年スタートの1月、誠に喜ばしい限りで今後の再生医療の研究に大いに期待したいと思います。

卓話 1月31日<第5例会>

「落語を食べる」

山口一儀氏(大阪西南RC)



落語は江戸時代から今日にいたるまで、常に庶民の目線で社会や人物を見てきました。登場する人々も武士や町人、僧侶をはじめ泥棒、花魁など多彩では

2月は世界理解月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

あっても、すべてが庶民の見た人間模様であり、その時代の出来事、事件でした。

学生時代に上方落語を経験した私は、日本料理を生業とするようになってから、落語の囁きに出てくる食品に関心を持つようになりました。

落語は目の前におられるお客様の日常生活を題材にしているわけですから、大変にリアリティなものなのです。ゆえに、食材の調理の仕方や、味付け、盛り付けなど本職からみても十分に納得のいくものです。

最近では、魚の養殖技術の向上と野菜のハウス栽培のおかげで、季節はずれの食品が店頭に並びます。5月に松茸が1月に筍が八百屋さんに出ます。鍋の王様フグも年中食べることができるようになりましたが、それが本当に良いことでしょうか？

昔の、と言ってもつい40年前までは、少なくとも庶民は季節季節の旬の食材を食べていました。

落語の世界でもその季節に合った食べ物しか登場せず、たまに季節はずれのフグや鯖を食べて「らくだ」や「地獄八景亡者の戯れ」の主人公のように地獄巡りをする者もいますが…。

旬のものが一番安くて美味しい事には今も変わらないのですが、最近の若い奥様方は何が旬なのかも知らなく、基本的な調理方法もご存じないようです。

お米を洗うのに洗剤を使ったり、サンマは開きで泳いで、蒲鉾は泳げないのでサーフボードに乗って…。

落語の世界は庶民の夢の世界でもあります。

奇想天外な食品も登場します。豆腐の腐った「長崎名物チリトテチン」、お小水の入った「相撲場風景」の一升瓶、一個千両もするミカン、誰も食べたことのない京都の世辞言葉の「お茶漬け」、数え上げると切りがありません。

最後に、グルメの多い囁きさんに「いつも何を食べているのか」と聞きましたら、「人を喰って生活をしている」とのことでした。

にこにこ箱

1月31日(第5例会)

- 山口さんを卓話にお迎えして。
中谷(佳)会員
- 福原様、先週SAAありがとうございました。
濱田会員
- お祝い 1件

1月 にこにこ合計 212,000円

◆ 地区大会のご案内 ◆

2013-2014年度

国際ロータリー第2660地区 地区大会

● 第1日目

2014年2月21日(金)

・大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

開会式 14:00～

合同研修会 15:10～

・リーガロイヤルホテル

家族の集い 15:30～

RI会長代理御夫妻歓迎晩餐会 18:00～

● 第2日目

2014年2月22日(土)

・大阪国際会議場(グランキューブ大阪)

本会議 13:00～

特別講演 15:30～

「日本の進路と誇りある国づくり」

櫻井よしこ氏

ジャーナリスト、国家基本問題研究所理事長。

クリスチャンサイエンスモニター紙 東京支局の助手としてジャーナリズムの仕事を始め、アジア新聞財団 DEPTH NEWS記者、東京支局長、NTVニュースキャスターを経て、現在に至る。

2007年にシンクタンク、国家基本問題研究所を設立し、国防、外交、憲法、教育、経済など幅広いテーマに関して日本の長期戦略の構築に挑んでいる。

■ 合同研修会

第1部「ロータリアンの奉仕とは何か」

ロータリー・コーディネーター第3ゾーン

井上暎夫氏

第2660地区 パスト・ガバナー

第2部「奉仕の現場からの報告」

「カンボジアでの奉仕」

認定NPO法人サイド・バイ・サイド・インターナショナル(SBSI)カンボジア事務所長補佐

西口三千恵氏

「被災地支援」

宮城県石巻市保健師

倉内菜穂子氏

■ 家族の集い

能「羽衣」

観世流能楽師 山本章弘氏

講談「竹の水仙」

講談師 旭堂南陽氏

■ RI会長代理御夫妻歓迎晩餐会

能「高砂」 観世流能楽師 山本章弘氏

(編集担当 三宅・宇津井)

会員増強にご協力を!!